



心(強い心)・技(鍛えられた技)・体(強靭な体) 継続は力なり!

## 毛呂山柔道会



近年、子どもたちのスポーツへの関心が薄れてきているといわれています。広報もろやまでは、今月から全12回にわたって、毛呂山町スポーツ少年団を紹介いたします。第1回目の今回は「毛呂山柔道会」です。

毛呂山柔道会は、昭和55年に設立されたスポーツ少年団で、現在は、幼児・小学生18人、中学生から一般30人で活動しています。近年の主な成績は、西入間警察署管内少年柔道大会や川越市武道大会で優勝者を出しています。

毛呂山柔道会は、柔道をとおして、強い精神と身体を育成することを目的に皆で一緒に汗を流しています。



アトランタオリンピック日本代表中村佳央先生を迎えるの集合写真



西入間警察署管内少年柔道大会での表彰

稽古は厳しいものですが、安全面に万全の注意を払いながら、年の近い上級者に下級者の指導をさせるなど、厳しいなかでも楽しく稽古ができるように工夫をしています。練習中は、正しい礼節を身につけるために元氣な挨拶を励行し、相手を敬つ心を育てています。また、柔道を学ぶことで人に優しく親切に、そして全ての人に感謝の気持ちをもてる人になれるように指導をしています。

稽古のほかにも、バーベキューやボウリングなどのレクリエーションも積極的に取り入れ、関係する皆さんの親睦をはかっています。

**練習日** 毎週土曜日・日曜日午後

2時～5時、毎週火曜日午後7時～9時

**場所** 毛呂山総合公園体育館柔道場

**会費** 月額2000円

**問合せ** 毛呂山柔道会295-6704 星野

## 毛呂山歴史散歩 文化財シリーズ222 新規指定文化財の紹介⑥ ～長瀬囃子～

長瀬囃子は毎年元旦、出雲伊波比神社の神楽殿で奉納されています。また、やぶさめの付祭りとしてもたびたび上演しており、長瀬囃子は町内の4つの獅子舞、毛呂本郷囃子とともに、平成23年3月22日、毛呂山町指定文化財となりました。

長瀬地区では、古くは豊年踊りと笠踊りが祭りの際に行われていましたが、昭和5年ごろ、若い人たちが囃子を習得したいという機運が高まり、まず入西村新堀(現在の坂戸市新堀)から囃子の道具を購入し、「ニンバ」などという曲目を練習して上演していました。その後、南高麗下畑(現在の飯能市下畑)より、囃子の師匠といわれる人に依頼して神田囃子大橋流の囃子を習い、現在の囃子の基礎ができました。

祭り囃子とは、神社の祭礼の際に、神輿について巡行する山車や屋台などで演奏される音楽のことです。毛

呂山のお囃子はいずれも神田囃子大橋流で、長瀬囃子では、ハヤシ・シヨウデン・神田丸・岡崎・国ガタメ・四丁目・ニンバ・カマクラといった曲目が演奏されています。さらに、長瀬囃子では面をかぶった物語性のあるユーモラスな踊りを多く上演しており、段物・獅子ツリ・シゾウサマ・オカメのヒゲソリといった演目があります。

古くから囃子の伝承は、笛や太鼓の技術を習得した人が演奏する様子を見て学ぶよう指導されてきました。しかし、最近では、後継者となる地域の子供たちが囃子に触れる機会も増えています。ぜひ将来に残したい長瀬地区の貴重な無形民俗文化財です。



出雲伊波比神社やぶさめでの長瀬囃子